

令和5年度 糸魚川市社会福祉協議会事業計画

○下線部は5年度の強化事業

基本方針

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクもあり、感染対策等を講じる中で、一部事業の縮小等を行いながら、各種事業を実施して参りました。国内においては、第7派、第8派と感染者数が増加し、当市におきましても、国と同様に増加しましたが、その後減少し、現在は新規感染者数が週に40人から50人程度の状況が続いています。

また、8月上旬には下越地域で発生した線状降水帯による豪雨水害により、甚大な被害が発生しています。当市には、多くの土砂災害計画区域等があり、いざ災害ともなれば、災害直後のきめ細やかな支援には、地域での支え合いが大変重要となってきます。日頃からの地域内での人と人との繋がりが強く求められています。

このような状況の中で、令和5年度におきましても、SDGsで掲げる「誰ひとり取り残されることなくこれからも幸せに暮らし続けられる社会の実現」に向けて、これまでと同様により多くの人から福祉に関心をお持ちいただける機会の創出に努めるとともに、法人後見事業や日常生活自立支援事業など、障害や病気等により判断能力が不十分な方も、尊厳を持って安全安心に暮らせる環境づくりを進めます。

国においては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを本年5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げることを見込みましたが、直ちに新型コロナウイルス感染症が終息するものとは思われず、感染リスクを軽減し、より多く市民の皆様から、参加していただける環境をつくり、行政や福祉団体、福祉関係団体等と連携し、「共に支え合い、安全で安心した生活を送ることができる地域社会の実現」に向けて取り組んで参ります。

事業計画

1 社協の基盤整備と組織の強化

- (1) 支部社協活動の推進支援と連携強化【7,067千円】
- (2) 役職員研修の機会拡充と社協事業運営への積極的参加【82千円】
- (3) 災害救援活動に関する派遣職員の相互支援
- (4) 各種委員会の開催【734千円】

地区社協運営委員会、福祉事業委員会、表彰審査委員会、事故等対策委員会、生活福祉資金貸付調査委員会(たすけあい資金貸付運営委員会)、糸魚川市民のつどい福祉大会実行委員会等

2 安心な暮らしがうまれるまちづくりの推進

- (1) 小地域活動を活かした実態把握
- (2) 福祉講座・ボランティア講座等の開催【372千円】
- (3) 一人暮らし高齢者等への配食サービス及び昼食招待事業の推進支援【1,980千円】
- (4) 一人暮らし高齢者に対する歳末たすけあい事業【648千円】

- (5)子育てカフェ（育児従事者のリフレッシュ事業）の開催【215千円】
- (6)バリアフリー映画上映会【442千円】
- (7)軽度除雪対策事業【651千円】
- (8)企業の社会貢献活動へのアプローチ
- (9)民生委員児童委員との連携による地域福祉活動の推進
- (10)関係機関、社会福祉施設、福祉団体との連携
- (11)各種受託事業の実施による地域福祉の推進
- (12)被災世帯への見舞金支給【150千円】

3 暮らしを支える環境づくり

- (1)ふれあいいきいきサロンの推進【838千円】
- (2)小地域ネットワークづくり事業の実施【25千円】
- (3)各種資機材の貸出（チャイルドシート、疑似体験セット等）【40千円】
- (4)一人暮らし高齢者等安否確認事業の実施【937千円】
- (5)高齢者等支援連絡会の実施【66千円】
- (6)地域活動支援センター（いちょうの家、青空工房、あけぼの）の
受託運営【28,874千円】
 - ・障害者の方が日中過ごせる場として創作・生産活動、社会交流の機会の提供
- (7)屋内ゲートボール場（すば一く能生）の管理運営【2,000千円】
- (8)ビーチホールまがたまの管理運営
- (9)マイクロバスの運行【1,671千円】
- (10)会長杯ゲートボール大会【14千円】

4 介護事業部門（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の充実強化

- (1)事業所の安定した経営を図るとともに利用者（介護保険、介護予防、障害者
自立支援）への質の高いサービス提供
- (2)居宅介護支援事業（ケアマネジメント）の充実【40,500千円】
 - ・利用者の心身状態や生活環境に応じた支援計画と関係機関と連携した支援
- (3)訪問介護事業（ホームヘルプサービス）の強化【102,499千円】
 - ・自立支援を目標に利用者から信頼される質の高い在宅サービスの提供
 - ・介護保険制度では対応できない在宅高齢者に対する在宅サービスの提供

5 福祉教育とボランティア活動の推進

- (1)学生を対象としたサマーワークボランティアの実施【95千円】
- (2)地域を支えるボランティアの発掘、ボランティアの情報提供
- (3)福祉研究普及校への助成【304千円】
 - （令和5年度～令和7年度の3年間指定）南能生小学校、中能生小学校、
下早川小学校、大野小学校、田沢小学校、糸魚川中学校
- (4)福祉専門職育成のための積極的な実習生の受入れ
- (5)ボランティア活動の推進と後継者の育成
- (6)ボランティアフェスティバルへの協力
- (7)ボランティア連絡協議会組織の充実と活動への支援

- (8) ボランティア保険活用の推進
- (9) 収集・回収活動の拡大（古切手、テレカ、エコキャップ等）

6 財政基盤の確立

- (1) 関係者の協力、市民からの理解を得た社協会費及び共同募金の確保
- (2) 社協事業を推進するにあたり公的助成制度等の活用
- (3) 社会福祉基金の増額
- (4) 財政調整基金の効果的な運用

7 相談・援助支援の推進

- (1) 心配ごと相談事業と専門相談の実施【1,387千円】
- (2) 日常生活自立支援事業の取り組み【1,776千円】
- (3) 法人後見事業の実施【4,842千円】
- (4) 生活困窮者の自立に向けた福祉資金の貸付と相談支援【850千円】
- (5) 福祉資金貸付者への償還指導及び長期滞納者対策
- (6) フードドライブの開催と生活困窮者支援
- (7) 行旅人援護【47千円】

8 災害時の支援体制づくり

- (1) 平常時における関係機関とのネットワークづくり
- (2) 災害時に活動できる人材養成と被災地への支援協力

9 子育て支援事業の充実強化

- (1) ふれあい児童館事業の実施【510千円】
- (2) 子どもの遊び場遊具設置【1,203千円】
- (3) 私立保育園幼稚園遊具等整備事業【306千円】

10 各種団体への協力

- (1) 福祉団体の事務受託【454千円】
民生委員児童委員連絡協議会、老人クラブ連合会、身体障害者会、
母子寡婦福祉会、保護司会、更生保護協力雇用主会、更生保護女性会、
遺族会、共同募金委員会

11 広報活動

- (1) 広報「社協だより」の発行【1,104千円】
- (2) ホームページの運営
- (3) 糸魚川市民のつどい福祉大会等の開催【1,078千円】
- (4) 福祉団体等が発行する機関紙への協力【305千円】

【糸魚川市社会福祉協議会組織図】

